

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月6日

【評価実施概要】

事業所番号	0270101751		
法人名	有限会社コスモス		
事業所名	グループホームコスモス苑		
所在地 (電話番号)	〒030-0145 青森県青森市金浜字稲田111番1 (電話) 017-729-8946		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年3月9日	評価確定日	平成22年4月6日

【情報提供票より】(平成 22年 2月 19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 11月 22日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算	13.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	450 円	おやつ 円
または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月 19日現在)

利用者人数	16 名	男性 3 名	女性 13 名
要介護1	1 名	要介護2	9 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	77.8 歳	最低	70 歳
		最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	青森協立病院、奥野ミナトヤ歯科医院、成田祥耕クリニック、佐藤内科クリニック
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

青森市郊外の田園地帯の集落に位置し、南に八甲田連峰を望む景観の良い場所に立地されており、初秋には敷地内にコスモスが咲き乱れ、利用者や来苑者の楽しみにもなっている。2ユニットで2階建てとなっており、階段は利用者の身体能力を配慮し、段差は低く勾配も緩く作られている。トイレは広く、車いすでも余裕をもって使えるようになっている。
利用者や家族とのコミュニケーションがうまくとれるよう常日頃から管理者をはじめとして対応されており、なんでも気軽に言えるような雰囲気づくりに努めている。また、職員一人ひとりが目標を掲げ、介護において実践されており、仕事に対する取り組みがされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>権利擁護事業等を職員が学ぶ機会については、外部研修や内部研修などの機会を作ることが引き続き課題とされており、今後はあらかじめ年間計画等により、計画的に実行されていくことが望ましい。食事や水分の摂取量の記録については個別にチェックシートを用いて対応されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は管理者だけでなく職員にも実施してもらい、意義を理解してもらうようにしており、外部評価実施後も評価結果を職員間で共有し、改善に向けた話し合いをし、取り組まれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域の代表、消防団、地域包括支援センター、民生委員の方などに出席してもらい、事業所の職員も参加して開催されている。前は警察の方に協力してもらい、行方不明時の対応についてマニュアル化するなど地域の協力の必要性について討議されたり、サービスの向上について課題を出して検討されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時に積極的に関わり、家族の意見を引き出せるよう取り組まれており、苦情や不安などについては気軽に言えるような雰囲気づくりに努めている。また、行政機関の窓口も利用できることを説明されており、意見等があった場合は管理者・職員で話し合わせ、改善に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日常の散歩等でのあいさつで近隣の方と顔なじみになっており、地域の会合にも参加し、事業所の理解を得られるようにしている。また、地域の夏祭り等の行事の際にはこちらからアピールし、コミュニケーションが図られるよう努力されている。地区の学校等の訪問やボランティアも積極的に受入れている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所設立時にサービスとして何が大切かを考え「目くばり、気くばり、思いやり」という理念をつくりあげている。管理者、職員は地域との交流の意義を理解されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は理念が日々のサービスに反映されるよう職員に伝え、職員も理念に基づいたサービスになるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域に溶け込めるように、普段から外出時には挨拶を交わすようにしている。地区のねぶたをホームに招いたり、神社の神楽や町内会の催し物に利用者が参加し交流を図っている。町内会の会合や懇談会に参加し、ホームの取り組みを伝える機会をつくるなどして、お互いに親睦がとれるように努力されている。また、積極的に地域の学校等の訪問やボランティアの受け入れをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義を理解し、自己評価は管理者だけでなく職員にも実施してもらっている。外部評価実施後も評価結果を職員間で共有し、改善に向けた話し合いをし、取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には町会長、消防団長、市担当課、地域包括支援センター職員を招き、事業所からは管理者、ケアマネージャー、職員が参加している。事業所の取り組みを伝える他、参加者よりアドバイスを頂いている。また、警察官などにも参加してもらい、利用者不明時の検索マニュアルを検討している。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営上の事や、終末ケア等のサービスでわからない点があれば、積極的に市担当者へ相談している。地域包括支援センターへもサービス提供上の問題を伝え、課題解決に向け協議されている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>あらかじめ、家族や利用者には情報提供しているが、制度について職員間で勉強する機会がない。</p>		<p>必要な方へ支援できるように、制度について職員が学ぶ機会を作ることが望まれる。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についての内部研修を開催している。どのような事が虐待にあたるか、精神的にどのような影響があるか周知されている。また、管理者からお互いに自覚は無くとも虐待となっているケースもあり得ることなどを職員に伝え、OJT的な指導もされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の前に重要事項説明書等を家族へ渡して読んで頂き、契約時に説明し、より理解して頂けるよう工夫している。料金の改定があった時にもその都度説明されている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や利用料支払い時に近況報告をする他、金銭出納帳を確認してもらっている。また、苑便りを定期的(2ヶ月に1回)に発行しており、通院時の受診報告と一緒に送っている。苑便りは写真も多く使われており、暮らしぶりがわかりやすく好評をえている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会時に何か気づいた事や希望がないか、意見を出しやすい雰囲気になるように声掛けなどされている。事業所以外にも苦情の申し出先がある事もあらかじめ説明されている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係が築けるよう、異動が無いようにしている。新しい職員が入った場合は、マニュアルに基づき研修を行うなど、利用者との関係づくりが自然にできるように対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加された場合は内部研修で伝達しているが、計画的に職員が研修に参加できるような体制がまだ少ない。		全ての職員のスキルアップを図るため、経験や習熟度の段階に応じた研修に参加する機会を作りたい。内部研修も含めて計画的に行うことが望まれる。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協会、東青地区グループホーム協会に加入し、開催される研修などには積極的に参加するようにしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と事前に見学をして一時を過ごしてもらい、他の利用者や職員とコミュニケーションを取るなど、雰囲気馴染んでいただくようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員が利用者から料理の方法や味付け、家事等を教えてもらったりして、学ぶ場面を作っている。利用者の能力に合わせて、食事の後かたづけを手伝っていただくなどしており、「ありがとう」と感謝の意を伝えるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人・家族の意向を汲み取ることを大切に考え、センター方式を取り入れて、本人・家族から聞きだした情報や、日頃の生活からの情報を随時記入し、意向を引き出している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者毎に各職員が担当者となり、本人や家族の意向を基にケアマネージャーと担当職員が話し合って計画を作成している。毎月開催しているケア会議では、全職員で話し合ってサービス計画の評価をされている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>計画の見直しは6ヶ月ごとに行い、現在のサービス内容の評価を基にし、利用者の状態が変化したときはその都度行われている。その際も本人・家族の思いを汲むことが第一と考えて計画書を作成されている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の要望や天候等により、臨機応変に外出などの対応をしている。病院受診は基本的に事業所で対応しており、毎月理容師に来ていただいているが、パーマを希望される利用者もあり、近所の美容院を利用できるよう支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族がこれまでのかかりつけ医を希望される場合は対応している。また、協力病院へもホームで付き添って受診できるよう支援されている。受診後は家族に電話で報告するとともに、受診報告書にて文書でも伝えるようにしている。協力病院より月1回の往診もある。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合など、介護が困難になった場合の対応についてはあらかじめ家族に説明されて、専門の施設への入居になる可能性があることなどについて了承していただいている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物等の個人情報管理に関しては十分注意し、保管場所のガラス戸棚にも目隠しをして外部から見えないようにしている。言葉がけの際にも利用者の自尊心を傷つけることがないよう配慮されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し、その日の状態や希望によって臨機応変に対応している。また、気軽に要望を言えるような雰囲気づくりに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の配膳・下膳は出来る方に手伝っていただいている。利用者の好みを聞き、誕生日には食べたい物を用意するなど、楽しみを見出したりしている。食事中は職員がさりげなく食べこぼし等をサポートしている。食事の前には全員で嚥下体操をしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は週2回行っており、他の日は夕食後に足浴を行っている。入浴日は希望によって臨機応変に対応しており、温泉を予約して日帰りで楽しむこともある。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者の状態に合わせて食器を拭いていただいたり、洗濯物たたみ等をしていただいている。余暇時間にはカラオケや園芸、花札などを楽しんでいる。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>近隣のショッピングセンターに買い物に行ったり、天気が良いときにはドライブや近所の散歩などをして、外出の機会を作るようにしている。外気浴も積極的に行い、苑庭での食事会も行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は拘束はしないという認識でケアに取り組み、内容についても理解されている。転倒の恐れのある利用者でも、職員の目の届く所で過ごしてもらう環境をつくり、身体拘束のない介護の実践に取り組まれている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日常的に施錠しないようにしているが、不穏状態の方がいる場合など、入浴日等で職員が手薄になるときははやむを得ず施錠する場合もある。その場合はあらかじめ家族にも説明して理解をいただいている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月避難訓練を行っており、消防署からは年2回来ていただいている。夜間を想定しての訓練も行われている。また、災害時の備品、食料・水などを用意しており、年1回チェックしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量を個別に記録し、体重も毎月測定している。食事のメニューは1階と2階の職員が交互に作成しており、一人ひとりの状態に応じて調理されている。		食事量・水分摂取量の把握以外の栄養バランスについての配慮として、可能であれば栄養士に確認してもらう機会を設け、おおよそのカロリー総量や栄養バランスを定期的にチェックしてもらうことが望まれる。
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルを作成しており、その都度更新している。重要な感染症については張り紙をして注意喚起しており、うがい・手洗いを利用者・職員ともに励行している。また、要所の塩素による拭き取り消毒を毎日行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>トイレは広く造られており、車いすでも楽に入ることができ、手すりを右麻痺用と左麻痺用に配置している。洗面所、トイレ等は不快なおいや汚れも無く清潔感がある。リビングはテレビの音など時と場合によって調整されており、居心地良い空間となるよう配慮している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には鏡台やタンスなどのなじみの物品を持ち込んでいる。ベッドは備え付けであるが、家庭的なベッドであり違和感が無い。状態に合わせてベッドには手すりを設置するなど、居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>		

 は、重点項目。